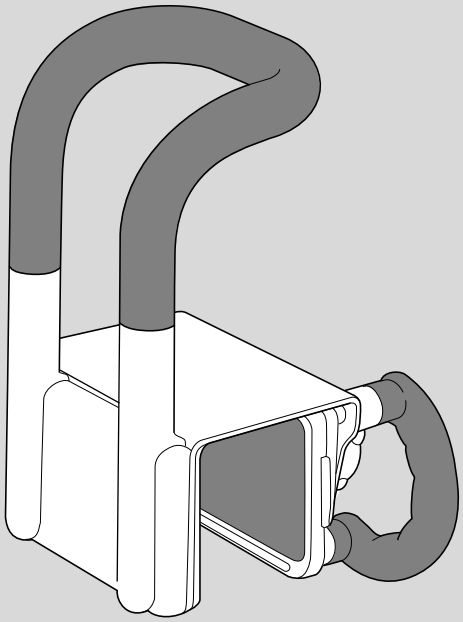
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

浴槽手すり
UK-80R/UK-115R
取扱説明書

最大使用者体重：80kg以下

このたびは浴槽手すりUK-80R/UK-115Rをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1･2
取りつけの前に	3~6
各部のなまえ・特長	7
組みたて・取りつけかた	8
使いかた	9
お手入れの方法	9

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

🚫 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

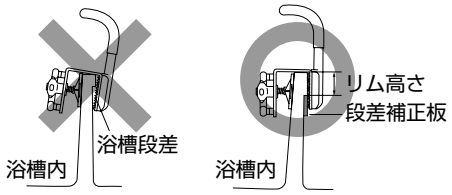
⚠ 警告

体重が80kgを超える方は使用しないこと
使用中に手すりが外れたり、破損しけがの原因になります。

浴槽手すりは浴槽縁のまたぎ動作、浴槽台・シャワーベンチ等からの立ち座り動作を補助する簡易取り付け手すりです。反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような使い方はしないこと
使用中に手すりが外れ、転倒しけがの原因になります。

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右にゆらしてみて、ガタツキやずれが無く浴槽にしっかり固定されているか確認すること
使用中に手すりが外れ、転倒しけがの原因になります。

浴槽の外側に段が付いている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用し、段差が無くなるようにしてから浴槽手すりを取り付けること
段差補正を行わないと手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。
※「段差補正板」を浴槽の内側には使用しないでください。



浴槽手すりの取り付けは、力の弱い方が行わないこと
使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。
※取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け・取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

以下の浴槽には取り付けないこと
手すりが外れ、転倒しけがの原因になったり、浴槽が変形・破損する原因になります。
① （UK-80R）4.5cm未満、8cmを超える場合。（UK-115R）8cm未満、11.5cmを超える場合。
② 浴槽上縁部に段差がある浴槽
③ 浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な浴槽
④ 浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで内部が空洞になっている浴槽

⚠ 注意

分解や改造をしないこと
手すりが正常にはたらかず、けがの原因になります。

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

安全上のご注意

⚠ 注意

取り付け位置などは、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

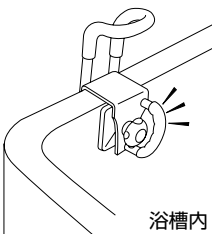
浴槽手すりを取り付ける前に、浴槽の取り付け面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が残らないように清掃すること
浴槽が汚れていると、使用中に手すりが外れ転倒の原因になります。

浴槽手すりは、こまめに清掃すること
本体グリップや内グリップの滑り止め部分にカビやぬめりが発生し、滑り止めが効きにくくなる原因になります。

取り付け・取り外しの際には、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意すること
足の上に落とすと負傷・骨折の原因になります。

押圧板のゴム板が外れていないか必ず確認すること
手すりが固定できず転倒やけがの原因になります。

内グリップが必ず浴槽の内側を向くように取り付けること
取り付け方向が逆になると、取り付け強度が弱くなり、転倒やけがの原因になります。

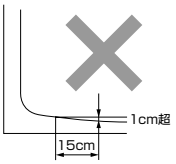


内グリップは、付属のねじ2本でしっかり取り付けること
使用中に内グリップが外れ、けがの原因になります。

上面裏側のシート及び本体側面のゴム板がはがれた場合、本体やシート、ゴム板に残った「のり」をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでシートやゴム板を貼り直してから使用すること
浴槽が傷付く原因になります。

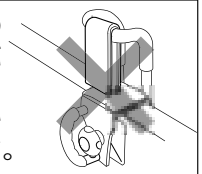
浴槽以外へは取り付けないこと

手すりを浴槽の端に寄せて取り付けるとき、浴槽壁厚の差が1cmを越える場所には取り付けないこと
手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。

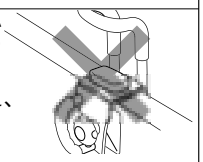


石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと
手が滑り、けがの原因になります。

浴槽へ取り付けた手すりの上に物を乗せたり、物をぶら下げたりしないこと
手すりの上の物が引っ掛かり、けがの原因になります。



フレームの上に、石鹸など物を乗せないこと
手すりが石鹸で滑って外れ、けがの原因になります。



浴槽手すりに座ったりしないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

子供を遊ばせる等、他の用途で使用しないこと
けがの原因になります。

お湯の温度が45℃以上では使用しないこと
シートやゴム板がはがれ、けがの原因になります。

火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。

戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと
劣化及び変形やソリ・ひび割れの原因になります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。

取りつけの前に

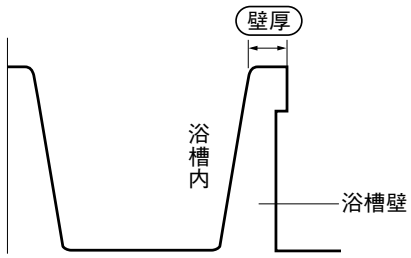
①次の浴槽には取りつけできません。

・浴槽壁の厚みが（UK-80R）4.5cm未満、8cmを超える場合（UK-115R）8cm未満、11.5cmを超える場合
・浴槽上縁部に段差のある浴槽
・浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な場合
・浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで壁強度が確保できない浴槽

「浴槽手すりUK-80R/UK-115R」を取りつけることができる浴槽壁の厚みは（UK-80R）4.5～8.0cm（UK-115R）8.0～11.5cmです。

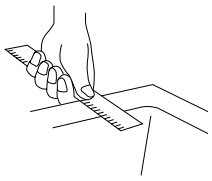
ここをご確認ください。

●浴槽壁の厚みを測ってください。



⚠注意

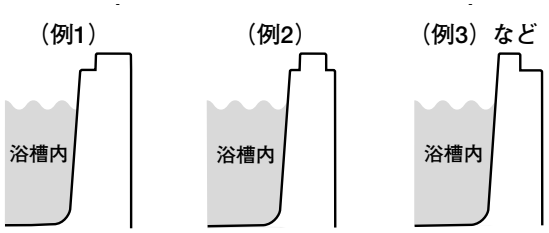
浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取りつけないこと
（UK-80R）4.5cm未満、8cmを超える場合（UK-115R）8cm未満、11.5cmを超える場合。本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損する原因になります。



浴槽上縁部に段差のある浴槽には取りつけできません。

ここをご確認ください。

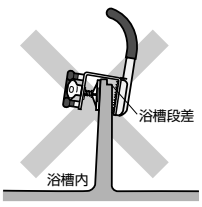
浴槽上縁部に段差のある浴槽



※浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、浴槽からはずれる可能性があるので取りつけないでください。

⚠注意

浴槽上縁部に段差のある浴槽には取りつけないこと
浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が破損する原因になります。



取りつけの前に

浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な浴槽には「浴槽手すりUK-80R/UK-115R」を取りつけることができません。

ここをご確認ください。

取りつけできない浴槽は、以下の項目がすべて該当する浴槽です。

①据置式浴槽（浴槽が床面におかれており、浴槽の前面がすべて見える浴槽）である。

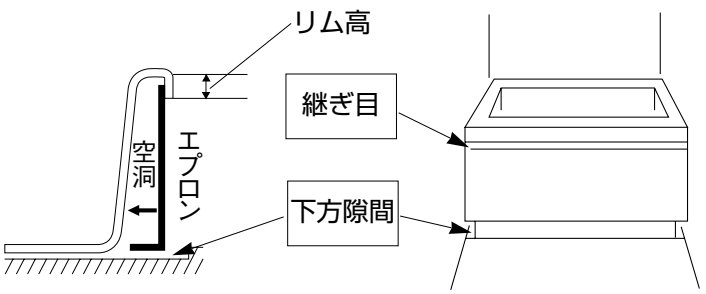
②上縁部に継ぎ目がある。

③洗い場側下方に手の入る隙間がある。

④取り外しのできるエプロンが前面1枚だけである。

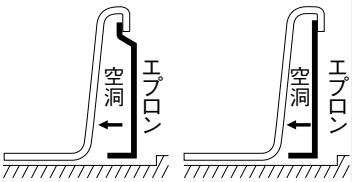
⑤リム高さが10cm以下である。

なお詳細が判断つきにくい場合は、現在お使いの浴槽製造メーカーまで、「前面着脱式1方全エプロン」であるかをお問い合わせください。



⚠注意

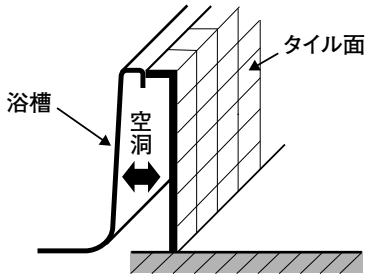
浴槽外側の前方エプロンが取り外し可能な場合は本品を取りつけないこと



●前面エプロンが着脱可能な浴槽は、設備メーカーが水漏れ等による万が一の場合に、点検用として取り外しが可能な仕様となっています。この仕様の浴槽のうち、1方全エプロンと呼ばれるものに本品を取りつけた場合、繰り返しの使用によっては、エプロンが外れ、転倒やけがの原因になりますので、取りつけはできません。

浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで壁強度が確保できない浴槽（内部が空洞になっているもの）には取りつけできません。

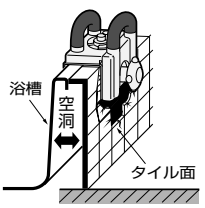
ここをご確認ください。



⚠注意

浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで、壁強度が確保できない浴槽には取りつけないこと

浴槽壁へのはさみ込み強度が得られず、タイルが破損したり側壁が陥没し、本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。



浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りの場合、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。空洞の場合は壁強度が確保できず、タイルや側壁が破損し、浴槽手すりが外れる恐れがあるので十分注意してください。

なお詳細が判断つかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。

取りつけの前に

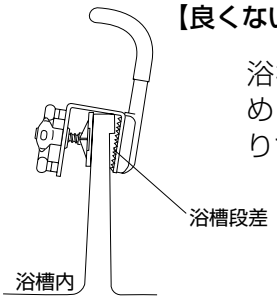
②次の確認を行ってください。

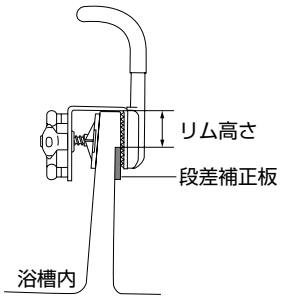
・浴槽壁の外側に段差がついていますか。
・浴槽外壁の強度は十分ですか。
・浴槽外側の角は丸くなっていますか。

浴槽の外側に段がついている場合は、段差補正を行ってから本品を取りつけてください。

【良くない例】

浴槽壁に段があるため、本品が傾いて取りつけられている。



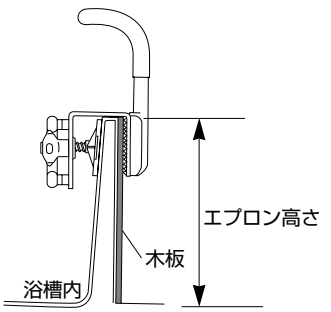


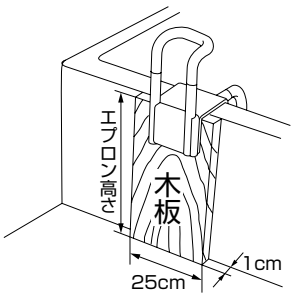
●付属の段差補正板で、浴槽壁外側の段差を解消します。
●段差の幅やリムの高さによっても、補正の仕方は変わります。

取りつけの際は段差補正板取りつけ方法をよくお読みください。

浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取りつけてください。



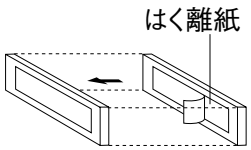


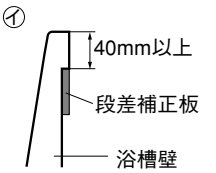
段差補正板 取りつけ方法

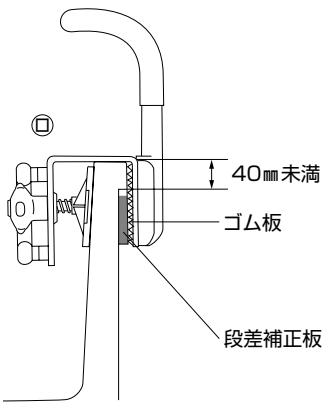
段差15㎜以下の場合

1 段差に合わせて段差補正板を用意します。2、3枚使用の場合には、最初に両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りをしておきます。

2 ㋑リム高さ40㎜以上の場合
リム下端に接する位置へ段差補正板を貼りつけます。
㋺リム高さ40㎜未満の場合
本体のゴム板下端に合わせた位置に、段差補正板を貼りつけます。







取りつけの前に

段差16㎜以上の場合

段に合わせた厚みの木板または硬いゴムを当てがってから取りつけてください。

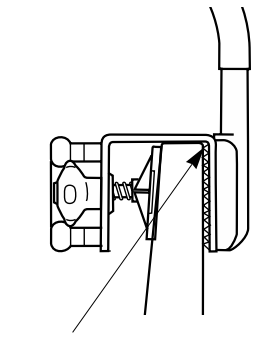
⚠注意

使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認すること
万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残った（のり）をきれいに取り除き、
市販の強力タイプ両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

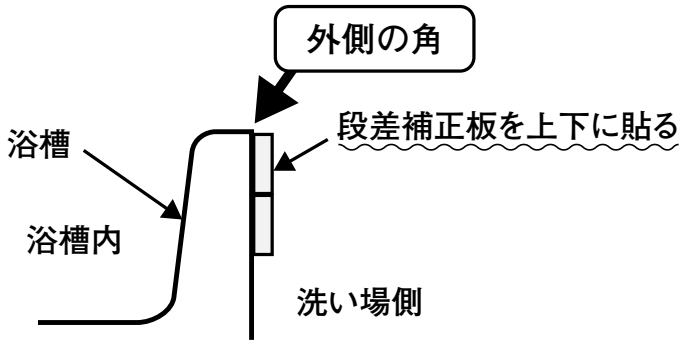
浴槽上縁部の外側の角に丸みがない場合は、段差補正板を取りつけてください。

浴槽上縁部の外側の角に丸みがない場合は、付属の段差補正板を図のように取りつけてご使用ください。

ここをご確認ください。



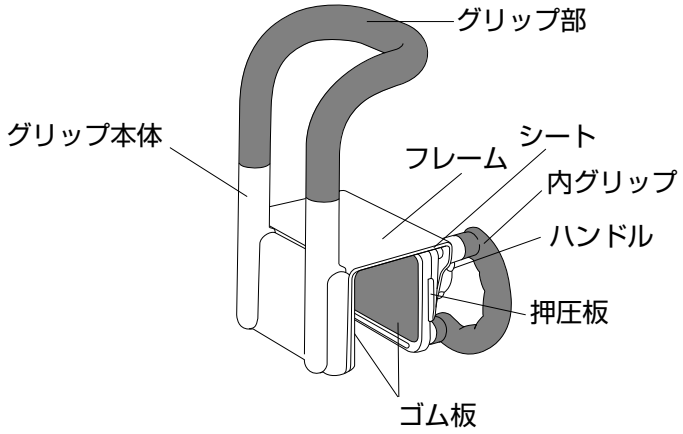
浴槽外側の角と浴槽手すりフレームの内側が接触する場合は、直接取りつけないでください。



⚠注意

浴槽上縁部の外側の角に丸みのない浴槽には直接取りつけないこと
浴槽を傷つける場合があります。

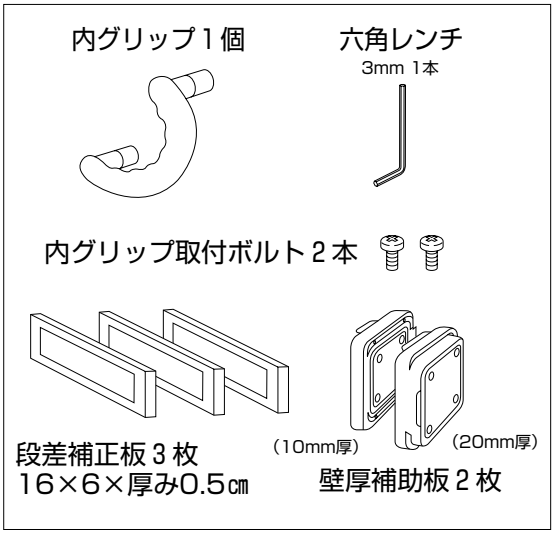
各部のなまえ



■仕様

品名	浴槽手すり UK-80R/UK-115R	
構成部品	部品名	材質
	グリップ本体、ハンドル、内グリップ、押圧板、壁厚補助板	ポリプロピレン
	グリップ部、ゴム板	エラストマー
	フレーム	ステンレス
	軸、ねじスリーブ	黄銅（ニッケル・クロムメッキ）
	段差補正板、シート	ポリエチレン
サイズ	（UK-80R）　20×21×高さ34cm グリップ高さ（浴槽上縁から）21cm （UK-115R）20×24×高さ34cm グリップ高さ（浴槽上縁から）21cm	
重　量	（UK-80R）　約2.8kg （UK-115R）約3.0kg	

■付属品



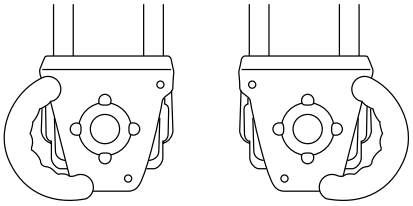
特長

●取りつけたまま風呂フタができます。
●両手でしっかりつかめて浴槽に安心して入れるグリップ形状。
●卵型（断面形状）の持ちやすいグリップ形状。
●グリップ部はソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材を使用。
●締めつけやすい形状のハンドル。
●浴槽壁に接する部分には、浴槽保護のためシートを使用。
●押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。
●浴槽内で身体を安定させたり、引き起こしたりするのに便利な半円形状の内グリップ付き。
●内グリップは、手すりの設置状況に合わせ左右どちら側でも取りつけが可能。

組みたて

内グリップの取りつけ

1. 使いやすい向きを選び、内グリップの取りつけ方向を決めてください。
2. 2 本の内グリップ取付ボルトを付属の六角レンチで最後まで強く締め込んでください。



取りつけかた

浴槽に水を入れる前に以下の手順で行ってください。

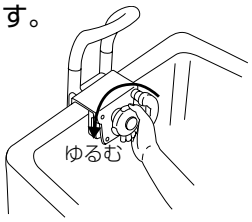
取りつけ

1 取りつけ可能な浴槽の壁厚は（UK-80R）4.5～8.0cm、（UK-115R）8.0～11.5cmです。

浴槽の壁厚が（UK-80R）4.5～6.9cm、（UK-115R）8.0～10.4cmの場合

2 取りつけ面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。

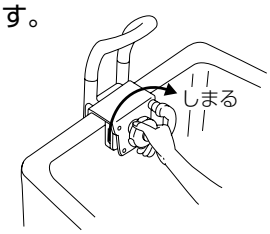
3 ハンドルを左に回して押圧板を浴槽の壁厚より少し広げます。



4 ハンドルが浴槽の内側に向くように取りつけます。

5 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取りつけます。

※締めつけ具合はグリップを握り左右に動かない程度を目安としてください。



浴槽の壁厚が（UK-80R）4.5～6.9cm、（UK-115R）8.0～10.4cmの場合は、必ず下記の説明に従い壁厚補助板を取りつけてください。

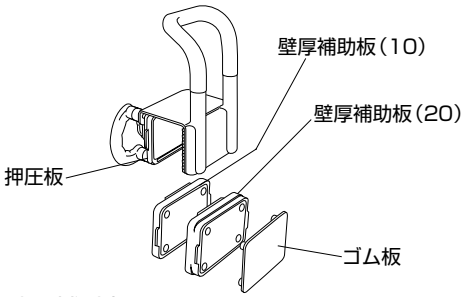
＜壁厚補助板の取りつけ方法＞

1 壁厚に合わせて、必要な壁厚補助板を用意します。

壁厚補助板必要枚数			
UK-80R	壁厚	4.5～4.9cm	20mm厚1枚＋10mm厚1枚
		5.0～5.9cm	20mm厚1枚
		6.0～6.9cm	10mm厚1枚
UK-115R	壁厚	8.0～8.4cm	20mm厚1枚＋10mm厚1枚
		8.5～9.4cm	20mm厚1枚
		9.5～10.4cm	10mm厚1枚

2 押圧板についているゴム板をはずします。

3 押圧板に必要枚数の壁厚補助板を差し込み、再度、ゴム板を取りつけます。



(例)壁厚補助板
20mm厚1枚＋10mm厚1枚

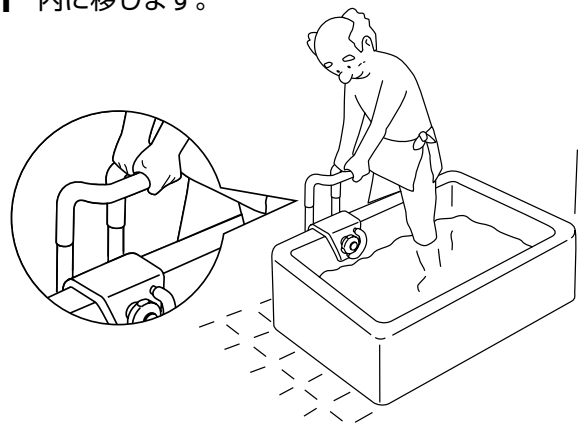
正しくセットされていることの確認

- ●浴槽の壁厚が（UK-80R）4.5～8.0cm、（UK-115R）8.0～11.5cmであるか。
- ●浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- ●段がある浴槽壁で傾いて取りつけられていないか。
- ●フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。
- ●締めつけが弱くグラツキはないか。
- ●壁厚が（UK-80R）4.5～6.9cm、（UK-115R）8.0～10.4cmの場合、付属の壁厚補助板を使用しているか。

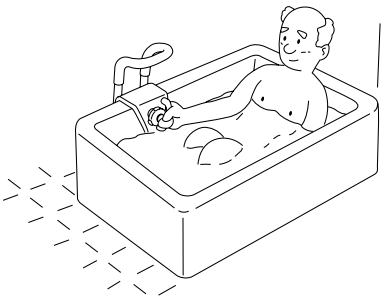
使いかた（浴槽にのみご使用ください）

●使用前には必ず本品がしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
●洗剤が手やグリップに付着していると滑りやすくなりけがの原因になりますのできれいに洗ってからご使用ください。

1 グリップを握り片足ずつゆっくりと足を浴槽内に移します。



2 グリップを持って、静かにお湯につかってください。



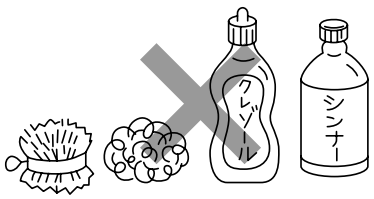
3 浴槽から出るときは、入るときと逆の手順で行なってください。

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

⚠注意

●必ず中性洗剤をご使用ください
●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。



本品のグリップ部は手触り感を良くし、さらに安全のため、使用時に滑りにくいよう、特殊な方法で製造しております。そのため、部分的に白点がありますが、品質上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。